2026 年度　宝塚大学 看護学部

学校推薦型選抜（知識技能評価）、学校推薦型選抜（指定校）

基礎適性検査：英語

出題の意図

1

●短い対話文の空所補充問題。日常的なトピックの対話文を通じて、基礎的な英語力および思考力を問う。対話文に含まれる基礎的な会話表現を把握した上で、二者の発言内容と最も整合性が取れる応答・質問などを選別できるかという能力を試す。発話者の意図や、会話が行われている背景・状況を把握する能力に加え、文脈を把握・推察する論理的な思考力も求められる。

21　B の最初の発話から、親子間の対話であることを把握する。B が 2 回目の発言で「忙し過ぎた」と、テストの点数が芳しくなかった理由を述べていることから、理由を導く Why「なぜ」を用いて質問したのだと考える。

22　大きな犬を 3 匹散歩させている女性についての対話。A が 2 回目の発言で仮定法を用いていることから、犬が実際に走り出すことはなさそうであることを押さえたい。また、次の B の発話から、女性は犬を静かに散歩させていることが確認できる。

23　カフェで店員に注文をする場面。「紅茶にレモンまたは砂糖を付けるか」という選択疑問文への適切な応答内容を選ぶ。店員である A が最後の発言で B の注文内容を復唱している点から、整合性の取れる選択肢を選ぶ。

24　駅のホームでの対話。ホームへと近づく電車の写真を撮ろうとしている B に対し、A が危険だと伝えている。A の空所の発話の後で B が I will. と応答していることから、空所には安全を促す忠告が入ると推察する。仮に「（電車などが駅に）入る」を表す pull in や、「駅員全般」を表す them が把握できなくても、A が危険な行動を止めようとしていることを掴めれば解答できるはず。

25　スピーキングのスキルを伸ばすコツとして、話している間に微笑するよう助言する B に対し、A は懐疑的な反応を示しているという状況。A の懐疑的な反応に対し、B は自分を信頼するよう伝えている流れに沿うものを選別する。

26　カラスについての対話。カラスが嫌いと述べる B が、A に対して 2 回目の発話で I disagree. と反対意見を述べている流れを押さえる。空所前後にあるゴミについての 2 人の発言内容を整理して把握することが求められる。

2

●長い対話文の空所補充問題。対話の場面は、セーリングのインストラクターである Miles が、出発前に参加者の Hana の持ち物について確認しているというもの。１点ずつ確認をしていき、最終的に持ち物をボートに運び込もうとするところまで対話が続いている。基礎的な会話表現だけでなく、発話者たちの状況・対話の流れを読み取った上で、文脈に合う選択肢を選ぶという総合的な対話把握能力を問う。本文中の代名詞や指示語などが指すものを正確に把握することに加え、選択肢を空所に入れたときに、選択肢内の代名詞や指示語などが指し得るものを確認しながら適切な発話を選別していく論理的な思考力も重要となる。

27　軽く自己紹介をした Hana が、空所に続く発言で、これからするセーリングについて期待感を示していることから考える。空所に続く発言を導くような、前向きな発言が入ると推察する。

28　チェックリストに沿って持ち物を確認するという流れの中で、インストラクターの空所の発言に対し、Hana が it を用いてそれを持っていると答えている。さらに、レースの途中で change が必要になったときのための予備も持参している、と述べていることから考える。正解選択肢を入れると、it が jacket を指し、change が「着替え」を意味することになり、流れに沿うと気付けるかがポイント。

29　最低でも 10 メートルのロープが必要であると伝える Miles に対し、Hana は空所の発言に続けて、30 メートル持参したと答えている。正解選択肢の more than enough「十二分に」がこの流れに合うと判断できる。

30　新規の受講者が思い付かない持ち物であるホイッスルを確認したインストラクターが、それをきちんと持参して来た Hana に対しどう述べたか考える。一通り持ち物の確認し終えたインストラクターが、空所の発言に続けて出発を示唆する発話をしていることからも、選択肢の整合性が確認できる。